

令和5年度庁議報告事項

第4回庁議（2023年6月16日）

地域支えあい推進部介護・高齢者支援課
健康福祉部福祉推進課
健康福祉部障害福祉課

【件名】

令和4年度（2022年度）健康福祉サービス等に関する意識調査及び意向調査の実施結果について

【要旨】

1 目的

健康福祉施策等に係る区民等の実態とニーズを把握し、今後の事業の見直し・改善、目標の達成度を測る指標として活用するとともに、健康福祉・介護保険・障害福祉サービスの利用実態や今後の利用意向等を把握し、地域福祉計画、成年後見制度利用促進計画、スポーツ・健康づくり推進計画、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画並びに障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の検討に資することを目的とする。

2 調査の概要

次のとおり、「健康福祉に関する意識調査」、「高齢福祉・介護保険サービス意向調査」、「障害福祉サービス意向調査」の3調査を実施した。

調査名		調査対象者	調査 標本数	有効回収数 (回収率)
健康福祉に関する意識調査		基準日(令和4年8月1日)時点で18歳以上の区民	3,000人	980人 (32.7%)
高齢福祉・ 介護保険サービス 意向調査	高齢者調査 (介護予防・日常生活 圏域ニーズ調査)	基準日(令和4年10月1日)時点で65歳以上の区民(介護予防・日常生活支援総合事業対象者及び要支援1・2認定者を含む) ただし、要介護認定者を除く	3,000人	1,652人 (55.1%)
	介護サービス利用調査 (在宅介護実態調査)	基準日(令和4年10月1日)時点で要支援1から要介護5までの認定を受けている区民 ただし、施設入所者を除く	3,000人	1,344人 (44.8%)
	ケアマネジャー調査	基準日(令和4年10月1日)時点で区内及び隣接区の居宅介護支援事業所で区民のケアプランを10件以上扱っている事業所に所属するケアマネジャー	250人	138人 (55.2%)

障害福祉サービス意向調査	障害者調査	基準日（令和4年8月1日）時点で、身体障害者手帳、愛の手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持している区民及び難病等により障害福祉サービスを利用する区民 ただし、施設入所支援の利用者を除く	1,500人	673人 (44.9%)
	施設入所者調査	身体障害者手帳又は愛の手帳を所持している障害者のうち、基準日（令和4年8月1日）時点で施設入所支援を利用している中野区の給付対象者	175人	134人 (76.6%)
	発達支援等調査	基準日（令和4年8月1日）時点で、0歳から18歳までの発達支援の対象児童及び身体障害者手帳、愛の手帳又は精神障害者保健福祉手帳を所持している児童	650人	341人 (52.5%)

3 調査期間

- (1) 健康福祉に関する意識調査、障害福祉サービス意向調査
令和4年9月20日～10月11日
- (2) 高齢福祉・介護保険サービス意向調査
令和4年11月15日～12月6日

4 調査方法

- (1) 健康福祉に関する意識調査、ケアマネジャー調査
郵送による配布、郵送・インターネットによる回収
- (2) 高齢者調査、介護サービス利用調査、障害福祉サービス意向調査
郵送による配布・回収

5 調査結果

前回調査（令和2年5月）結果と比較し、変化が大きかった項目

- (1) 健康福祉に関する意識調査
 - ①見守り・支えあい活動については、「活動していないし、これからも活動したいと思わない」が、全体で38.8%と前回調査時より19.1ポイント増加している。特に、20歳代で44.5%、30歳代で49.4%と前回調査時よりそれぞれ22ポイント以上増加した。
 - ②地域での住民同士での交流の場については、「ない」又は「どちらかといえばない」が、40歳台で82.2%と前回調査時より15.4ポイント増加した。
 - ③高齢者会館の利用については、「あまり利用していない」又は「全く利用したことがない」が、70歳代で92.0%と前回調査時より11.2ポイント増加した。

そのうち、利用していない理由は、「行く必要を感じないから」が、60.9%と最多で前回調査時より12.2ポイント増加した。

④健康状態については、「健康でない」又は「どちらかといえば健康でない」が80歳代で33.3%と前回調査時より10.3ポイント増加した。

(2) 高齢福祉・介護保険サービス意向調査

①ここ2週間毎日の生活に充実感がない気がしたかについては、「はい」が23.3%で、前回調査時より12.6ポイント減少した。

②ここ2週間これまで楽しんでやれていたことが楽しめない気がしたかについては、「はい」が17.3%で、前回調査時より15.7ポイント減少した。

③介護・介助が必要となった主な原因は、「認知症（アルツハイマー病等）」が36.7%で前回調査時より4.5ポイント減少した一方、「骨折・転倒」は28.6%で、前回調査時より5.0ポイント増加した。

④作成するケアプランの件数について、「もっと減らしたい」が57.2%で、前回調査時より11.4ポイント増加した一方、「現在の件数で十分」は39.9%で前回調査時より7.3ポイント減少した。

⑤ケアマネジメントを行う際に、特に対応に苦慮するケースについて、「身寄りがいない」が72.5%で、前回調査時より12.6ポイント、「キーパーソンがいない」が64.5%で、前回調査時より13.1ポイント増加した。

(3) 障害福祉サービス意向調査

①住宅で困っていることは、「家が老朽化している」が42.0%で、前回調査時より11ポイント増加した。また、「バリアフリーになっていない」が25.0%で、前回調査時より16.6ポイント減少した。

②現在の就労形態は、「常勤の会社員、公務員、団体職員」が40.3%で、前回調査時より10ポイント増加した。

③施設退所後の生活は、「家族やヘルパー、支援員などから介助（介護）を受けて生活したい」が24.0%で、前回調査時より28.9ポイント減少した。また、「通所施設などに通いながら生活したい」が40.0%で、前回調査時より34.1ポイント増加した。

④充実してほしい施策・サービスは、「ペアレントトレーニング等の保護者支援」が55.1%で、前回調査時より12.4ポイント増加した。

6 今後の予定

調査結果を区ホームページに掲載するとともに、調査報告書を区政資料センター、区民活動センター、図書館、すこやか福祉センター等に備え、区民の閲覧に供する。